ナンバリ	`, H	ング 授業科目名(科目の英文名) 区分・【新主題】/(5						\	_									
JONG		 析学			1文末作	7 <u>1115</u> (17110)	(央义石)		区分・【新主題】/(3	<u> </u>	Ż	対面	fx:	未形	EV.			
E142G0)14 (A	nalysis	I)															
.\\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1 1 24 /-		- /T \/h	<u>₩</u> 57	554 ALD	n93 7FI	ナル 住田 ナス 辛杯	7	の他に使用する意味			+D M	/ T/ 台					
必修選択	単位	. 対象	年次_	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	- E	の他に使用する言語			担当	手形態	ž				
選択	2		3	教育学部	前期	火1	日本語			単独								
授 1変数限	t - ohno	たついて	学びま	内線 7566 す。数学を勉:		合の基礎の基份	 礎である1変数の積分の計算能力	力を育成する	ことを目指し、解析学に関	する専	門的	は知	識・	技能	を体	系的		
具体的な到	達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7		
目標1 定積分の意味をリーマン和と微分積分の基本定理により説明することが出来る。								_						<u> </u>				
目標2 公式を駆使し、不定積分・定積分の計算が出来る。																		
目標3 広義積分の意味を理解し、計算が出来る。 目標4 幾何学的量を積分を用いて、計算が出来る。										-				_				
日標5																		
目標6																		
目標7																<u> </u>		
目標8											-					-		
目標10										1						 		
日伝 IV									5		5							
授業の内容																		
1 不定積		.Tn																
2 定積分 3 微積分																		
3 微積分の基本定理 4 部分積分																		
5 置換積分																		
	6 置換積分の演習																	
	7 有理関数の不定積分 8 有理関数の不定積分の演習																	
9 無理関			=															
10 無理関	数の不定種	責分の演習	3															
11 三角関																		
12 三角関																		
13 有限区																		
15 回転体		- 100 150																
ラ ァ A:矢			_				こ解決してもらう。また、協働	的 工 そ なし	' °									
= = =	<u>意見の表現・交換</u> に解いた問題を他の受講生に向けて発表してもらう。 に解いた問題を他の受講生に向けて発表してもらう。 に対し、 大の した。																	
1 -	J用心回 D識の活用	・ 創造	\Box					0										
7,			シラノ	「スの授業予定	†>mood e	内で随時更新	される講義ノートを参考に予習	をする(30h)	•									
	準備	学修																
授業時間外			1															
学修の内容 と想定時間		***	授業時	時間内で解けな	った問題	や関連する問	題を復習する(15h)。											
こ思ル时间	事後	:学修																
	想定時	間合計	45															
	教科書は																	
教科書																		
	小学校学	翌指道西	4 亚	成20年失元 鱼	空前 管断线	编 / 文郊科学												
	2018年02				十日儿 安子女人だ	Mm / 人口パイナ	「日、日」/ 日や人教山脈/											
麥看書		1学校学習指導要領 平成29年告示 解説 数学編/文部科学省〔著〕/日本文教出版/ 018年03月 ISBN: 978-4536590129																
					备記言台 米万克	学编 珊粉炉/	立郊科学名(茎)/学坛网事/											
高等学校学習指導要領 平成30年告示 解説 数学編 理数編/文部科学省〔著〕/学校図書/ 2019年03月 ISBN: 978-4762505355																		

成	評価方法	去	割合	目標	目標	目標	目標	目標 5	目標	目標 7	目標	目標	目標 10
績	レポー 演習 テスト	h	20%		_								
価	演習		20%										
の	テスト		60%										
方	,,,,		00%										
法 及													
び													
評													
価													
割合													
注	意事項	数学 、数学 、数学A、数学Bの内容を理解しておくこと。											
備考		なし。											
リンク		なし。											
		URL											
担当教員の		<u> </u>											
実務経験の													
有無													
教員の実務 経験		高等専門学校に2年間勤務											
実務経験を													
		高等学校数学からの接続を意識した授業展開を行う。											
育内容													